令和6年度　農山漁村振興交付金（地域資源活用価値創出対策）のうち
地域資源活用価値創出推進事業（農福連携型）及び地域資源活用価値創出整備事業（農福連携型）
事業実施主体　評価一覧

1. 事業評価の実施

令和6年度に実施された農山漁村振興交付金（地域資源活用価値創出対策）のうち地域資源活用価値創出推進事業（農福連携型）及び地域資源活用価値創出整備事業（農福連携型）の事業について、農山漁村振興交付金（地域資源活用価値創出対策）実施要領（令和4年4月１日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知）別記5の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 事業評価結果の総括

令和6年度に交付金事業を実施した近畿農政局内の12地区について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。
その結果、優良と認められる地区が12地区との評価結果となった。

3. 各地区の評価結果

12件

●農福連携型

【令和4年度採択】

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
近畿	滋賀県	東近江市	株式会社BASYO				●	●	■			A	計画に定められた取組は全て実施されており、目標は全て達成され、取組体制も十分機能していることから、総合的にみて十分な成果を上げていると認められる。
近畿	滋賀県	甲賀市	特定非営利活動法人マイ・ライフ				● ★	●	■ ◆			A	計画に定められた取組は全て実施されており、目標は全て達成され、取組体制も十分機能していることから、総合的にみて十分な成果を上げていると認められる。
近畿	奈良県	大和高田市	社会福祉法人青垣園				● ★	●	■ ◆			A	計画に定められた取組は全て実施されており、目標はおおむね達成され、取組体制も十分機能していることから、総合的にみて成果を上げていると認められる。

近畿	京都府	京都市	社会福祉法人菊鉾会	／	／	／	●	● ★	■ ◆	／	／	A	計画に定められた取組は全て実施されており、目標は全て達成され、取組体制も十分機能していることから、総合的にみて十分な成果を上げていると認められる。

【令和5年度採択】

農政局等	都道府県	市　町　村	事　業　実　施　主　体　名	事業実施段階								評価	評　価　コ　メ　ン　ト
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
近畿	滋賀県	甲賀市	甲賀流農福連携のあり方を考える研究協議会					●	●	□		A	計画に定められた取組は全て実施されており、目標は全て達成され、取組体制も十分機能していることから、総合的にみて十分な成果を上げていると認められる。
近畿	滋賀県	大津市	特定非営利活動法人蓬莱の家					● ★	●	□ ◇		A	計画に定められた取組は全て実施されており、目標は全て達成され、取組体制も十分機能していることから、総合的にみて十分な成果を上げていると認められる。
近畿	京都府	京都市	社会福祉法人向陵会					● ★	●	□ ◇		A	計画に定められた取組は全て実施されており、目標はおおむね達成され、取組体制も十分機能していることから、総合的にみて成果を上げていると認められる。
近畿	大阪府	枚方市	社会福祉法人高潤会					● ★	●	□ ◇		A	計画に定められた取組がおおむね実施されており、目標はおおむね達成され、取組体制も十分機能していることから、総合的にみて成果を上げていると認められる。
近畿	大阪府	柏原市	特定非営利活動法人ディーセント・ファームかしわら					● ★	●	□ ◇		A	計画に定められた取組はおおむね実施されており、目標はおおむね達成され、取組体制も十分機能していることから、総合的にみて成果を上げていると認められる。
近畿	大阪府	河内長野市	株式会社M&C					● ★	●	□ ◇		A	計画に定められた取組は全て実施されており、、目標はおおむね達成され、取組体制も十分機能していることから、総合的にみて成果を上げていると認められる。

【令和6年度採択】

農政局等	都道府県	市　町　村	事　業　実　施　主　体　名	事業実施段階								評価	評　価　コ　メ　ン　ト
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
近畿	大阪府	四条畷市	株式会社茂広組					● ★	○	□ ◇		A	計画に定められた取組は全て実施されており、目標はおおむね達成され、取組体制も十分機能していることから、総合的にみて成果を上げていると認められる。
近畿	奈良県	高取町	社会福祉法人朱鳥会					●	○	□		A	計画に定められた取組はおおむね実施されており、目標は全て達成され、取組体制も十分機能していることから、総合的にみて成果を上げていると認められる。

（注1）「事業実施段階」の凡例：ソフト対策　○･･交付対象年度（計画）　●･･交付対象年度（実施済）　□･･目標年度（計画）　■･･目標年度（実施済）
ハード対策　☆･･交付対象年度（計画）　★･･交付対象年度（実施済）　◇･･目標年度（計画）　◆･･目標年度（実施済）
重点指導　▼･･重点指導（通知）　△･･重点指導（結果報告予定）　▲･･重点指導（結果報告）

（注2）「評価」の区分：　A･･優良　B･･良好　C･･低調　評価対象外･･評価対象外

４．第三者機関の意見聴取

農山漁村振興交付金（地域資源活用価値創出対策）実施要領（令和4年4月１日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知）別記5の規定に基づき、第三者機関である「近畿農政局農村振興関係交付金評価委員会」を設置し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

【評価委員会　委員】

委員長：丸山 政行（一般財団法人京都大学名誉教授森下正明研究記念財団 代表理事）
委員：牛尾 洋也（龍谷大学 教授）、副島 久実（摂南大学 教授）

【令和7年度評価委員会の開催概要】

第1回評価委員会
1　日　時：令和7年7月22日（火）　13:00～14:00 2　場　所：輪の里（北摂丹波アップストリーム協議会） 3　議事概要 　①　令和6年度評価対象地区の評価方法について 　　本年度の評価方法について、説明を行い了承を得た。 　②　令和6年度評価対象地区の評価及び取組状況について 　　令和6年度に事業を実施した12地区の取組概要、評価案に関して説明し、質疑応答を行った。 4　主な意見 　特になし。
第2回評価委員会
1　日　時：令和7年8月5日（火）　13:30～14:30 2　場　所：近畿農政局第3会議室（WEB併用） 3　概　要 　①　第1回評価委員会の結果について 　　第1回評価委員会の結果について、説明を行い了承を得た。 　②　昨年度に重点指導対象となっていた1地区について、重点指導結果に関して説明し、質疑応答を行った。 　　また、昨年度に重点指導対象となっていた1地区の重点指導結果に関して、了解を得た。 　③　令和6年度農山漁村振興交付金の評価の公表について 　　評価結果等の公表資料（案）について、説明を行い了承を得た。 4　主な意見 　特になし。